

学長のコラム

第 4 回保健科学国際シンポジウムに参加して (1/2)

第 4 回保健科学国際シンポジウム(4th Allied Health Sciences Symposium)は、11 月 6 日(水)～8 日(金)の日程で、コンケン市の Avani Khon Kaen Hotel & Convention Centre で開催された。本シンポジウムは大邱保健大学(韓国)、セントロエスカラー大学(フィリピン)、コンケン大学(タイ)および本学の間で、毎年持ち回りで開催されているもので、今回はコンケン大学の主催で、同大学医療科学部創設 40 周年記念国際会議(International Congress of the 40th Anniversary of AMS-KKU Foundation)との共同開催であった。また、今年は上記 4 大学によるコンソーシアム協定の更新時期にあたり、4 大学に加えてファーイースタン大学(フィリピン)が加わることとなり、会期中に調印式が行われた(写真左：左より 4 人目からコンケン大 Patcharee Jearanaikoon 医療科学部長、コンケン大 Charnchai Panthongviriyakul 学長、ファーイースタン大 Atty. Antonio H. Abad, Jr 学長、他 2 大学の学長は欠席)。

学会事務局によると、今回のシンポジウム参加者は約 200 名で、海外からは 50 余名、12 カ国の研究者が参加し、アジア諸国以外ではオーストラリア、ニュージーランド、スウェーデン、英国の研究者による招待講演があり、国際色豊かな内容であった。本学からは教員 7 名(MT:竹屋、南部、亀山、NS:高島、PT:久保、OT:山野、ST:兒玉)と米村課長の計 8 名が参加し(写真)、教員は全員が演題発表を行ったが、タイ以外の参加国の中では最も多い演題数となり、シンポジウム開催に大いに貢献した。私は 2 日目の Plenary Lecture3 を担当し、”腫瘍に伴うマクロファージの腫瘍増殖促進作用”について講演したが、講演終了後にファーイースタン大学の Abad 学長が近寄ってきて、”Congratulation!”と握手を求めてくれたのは嬉しかった。日本のアニメ「はたらく細胞」を引き合いにしたイントロが気に入ってくれた様である。

最終の 3 日目に今後のシンポジウムについての連絡会議が開かれ、まず参加 5 大学で共同研究が出来ないかということで、研究テーマの検討を行った。ハーブ医療の薬効検定やデング熱研究等の候補が挙がったが、すべての参加大学の興味が一致するものとして、高齢者の健康増進や学生のヘルスケア等が提案され、とりあえず後者について、各大学の課題と取り組みについて、情報交換を行うこととなった。次に、次回開催について報告があり、第 5 回シンポジウムは大邱保健大学の主催で 2021 年 2 月 18 日

(木)～21 日(日)に開催されることになった。2020 年をスキップした理由は、2021 年の同大学創立 50 周年に合わせたいという意向のためである。その次の第 6 回は本学の担当順となるので、同じ年の秋～冬の開催を企画する必要がある。教職員各位のご協力を是非お願いしたい。



11 月・12 月・1 月の主な行事予定

11/27(水)	学校法人银杏学園 理事会
12/ 2(月)	P&P 新規研究テーマ募集(～1/9)
12/ 3(火)	リハビリテーション教育評価機構実地調査(ST)
12/ 7(土)	助産別科一般入試 入門実習指導者会議(ST1)
12/ 8(日)	チャレンジ熊本大！一般入試対策講座
12/ 9(月)	賞与支給式
12/13(金)	リハビリテーション教育評価機構実地調査(OT)
12/14(土)	看護学科臨地実習合同研修会(看護)
12/20(金)	リハビリテーション教育評価機構実地調査(PT) 学校法人银杏学園忘年会(ホテル日航熊本)
12/26(木)	仕事納め
1/ 6(月)	仕事始め、2020 年度(P&P)継続研究テーマ募集(～1/24)
1/18(土)	センター試験(～1/19)
1/23(木)	心と体の健康づくり研修会 ハラスメント防止研修会
1/30(木)	成績締め切り(4 年)
1/31(金)	成績締め切り(助産)

※12/27(金)は 11/16 推薦入試の振替休日です。12/29(日)-1/3(金)が年末年始休暇となります。

第 4 回保健科学国際シンポジウム 2019 in タイ

11 月 6-8 日、Avani Khon Kaen Hotel & Convention Centre において、第 4 回保健科学国際シンポジウム(MT・Ns・PT・OT・ST)が開催されました。本学から竹屋元裕学長、医学検査学科から南部雅美教授、亀山広喜講師、看護学科から高島利講師、リハ学科理学療法専攻から久保高明准教授、リハ学科生活機能療法専攻から山野克明教授、リハ学科言語聴覚学専攻から兒玉成博講師、経営戦略課から米村英之課長の 8 名が参加しました。

会場では、発表された演題に対して活発な意見が交わされました。今回学んだ諸研究と今回得た人的つながりを、今後の研究へ還元していきます。(文責：リハ学科言語聴覚学専攻 兒玉成博)



ピア・サポーター&プチ・サポーター全体交流・研修会

去る 10 月 21 日(月)、ピア・サポーター&プチ・サポーターの全体交流・研修会を開催し、これまで活動を継続した 4 年生 33 名へ、杉内センター長より感謝状と記念品が贈呈されました。4 年生を代表して OT 専攻 藤崎 未紗さんが、活動についての感想や後輩へのメッセージを語ってくれた後、3 年生以下を代表して医学検査学科 谷口江理奈さんが 4 年生へ感謝の言葉を送りました。最後に、竹屋学長からサポーター全員へ労いと激励の言葉をいただき、参加者一同、ピア・サポーターとしての自覚と誇りを改めて感じたようでした。(文責：学生相談・修学サポートセンター)



動物慰霊祭

10月16日12:30より令和元年度動物慰霊祭を執り行いました。

日頃、実習や研究で犠牲になっている実験動物の御霊に、大学を代表して竹屋学長、学生を代表して医学検査学科2年久多見 健太さんが慰霊の詞を述べました。

また、崎元理事長、竹屋学長、動物実験委員長の田中(聡)教授、学生の代表として医学検査学科2年溝口直紀さん4名が代表で献花を行い、動物たちへ感謝と冥福を祈りました。

(文責：総務課)



国試対策講演会

毎年恒例の大畑誠也先生(前九州ルーテル学院大学客員教授)による国家試験対策講演会を10月9日(水)に行いました。先生は、心構えから勉強法まで、合格のメソッドを教授してくださいました。学生たちからは、「エネルギーが満ちた講演でやる気が出た」「改めて挨拶の大切さがわかった」「自分の中で何かが変わった」といった声が寄せられました。

先生の魂のこもったお言葉は、学生たちの心に響いたようです。大畑先生、ありがとうございました。

(文責：国家試験対策委員会事務局)



第43回杏祭(2019年)

雨上がりの秋晴れのもと、第43回「杏祭」が10月19日(土)に開催されました。今回のテーマは「打ち鳴らせ はじまりの鐘」です。「新しい元号、令和のはじまりを告げる鐘」、「県内大学の学園祭の幕開けを告げる鐘」という意味が込められています。このコンセプトのもと、お笑いライブをはじめとするステージでの各種企画、模擬店、文化展など、アイデア満載の内容で来場者を楽しませてくれました。杏祭の最後を締めくくるのは打ち上げ花火です。間近でみる火花の美しさと音響の迫力が、杏祭を成功に導いた学生たちの姿とオーバーラップしました。

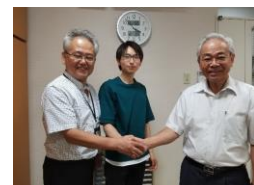
(文責：学務課長 平川 文丈)



第74回国民体育大会出場!!!

&全日本学生スポーツ射撃選手権大会に出場!

医学検査学科4年渡邊浩幸さんが、10月3日(木)~6日(日)いきいき茨城ゆめ国体2019(第74回国民体育大会)スポーツクライミング競技の熊本県代表として出場しました。渡邊さんのスポーツクライミングとの出会いは、高校の部活とのこと。10月1日(火)の壮行会では、崎元理事長とスポーツクライミングの話で盛り上がりました。これまで多くの難しい壁に挑戦してきた渡邊さんのご活躍を期待しております。(ボルダリングでは、予選を43チーム中6位で通過し、見事8位入賞を果たされました!)



リハビリテーション学科生活機能療法学専攻3年渡邊風花さんが、10月10日(木)~13日(日)埼玉県長瀬射撃場で行われた全日本学生スポーツ射撃選手権大会に出場しました。渡邊さんは、9月に行われた秋季九州学生スポーツ射撃選手権大会を勝ち抜いての全国大会出場です(昨年に引き続き2回目)。10月7日(月)の壮行会では、竹屋学長からのスポーツ射撃の競技内容や点数のカウント方法等の質問に笑顔で答えていました。そんな渡邊さんに心からエールを送りたいと思います。(文責：学務課)



共同研究講座開設記念講演会

令和元年10月1日付で本学に一般財団法人化学及血清療法研究所と「生物毒素・抗毒素共同研究講座」を開設したことを記念して、10月28日(月)に共同研究講座開設記念講演会を開催しました。崎元理事長、竹屋学長、化血研 木下理事長からのご挨拶、高濱副学長から講座開設までの経緯のご説明、講座スタッフ紹介の後、高橋元秀特命教授から「共同研究講座の目指す研究」内容についてのご講演いただきました。杉内副学長から閉会のご挨拶があり、盛会のうちを終えることができました。講演会には、本学の教職員、化血研、kmbの方々にもご参加いただきました。(文責：企画課)



私の秘話ヒストリー

今回は共通教育センターの山鹿 敏臣 講師に投稿していただきました。

2003年、私は本学教員の採用試験に応募いたしました。応募したきっかけは、小学校5・6年時の担任の先生(以下「先生」)です。「先生」には温かくも厳しいご指導をいただき、「先生」は私の憧れでした。

実は採用試験を受験することに迷っておりました。家庭の事情で自宅から通勤可能な職場を探しておりました私には理想的な就業条件でしたが、人に影響を与える教育職にビビっておりました。そこで思い出したのが「先生」です。「先生」みたいになりたい!との思いで採用試験に応募しました。

採用試験の結果、内定をいただき現在勤務16年目です。病気のため半年ほど休職した時期もありますが…今後も「先生」に少しも近づけるように精進いたしますので、皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。